千西一遇

号外

号外
（号外・速報通算 No,23）
発行
2026 年 10 月 22 日（木）
上田西高校
新聞委員会
編集局
編集局長：菊池ひとみ
新聞委員長：斎藤瑠心
小林　未侑
中村　七菜
内藤　寧音
レイアウト：菊池　ひとみ

内藤 育成ドラフト1位

160キロ 内藤 峻



▶春季東信大会決勝ＶＳ佐久長聖戦で、最速１５０キロを計測した内藤　撮影＝斎藤　瑠心

内藤　峻（ないとう・りょう）
１８０cm ８２kg　右投げ左打ち
白馬中学校出身
白馬ジュニアベースボールクラブ竜神～
大北ベースボールクラブ～上田西高校

最速１５０km の直球にスライダー、カーブ、フォークを操る。
２年春から背番号１を背負い、２年夏は県４強、３年夏は８強。

怪我を乗り越えて最速１５０キロ投手へ成長

10月22日（木）、プロ野球ドラフト会議が行われ、本校野球部の内藤峻選手（進学3年＝大北野球クラブ・白馬）が中日ドラゴンズから育成1位指名を受けた。本校野球部から高卒プロ野球選手が誕生するのは3年ぶり4回目。

小学2年生のある放課後、「児童クラブで読書に励むより、外で野球をやっている方が楽しそうだな」そう感じて野球を始めた内藤。高校2年の夏からチームのエースを背負い、ドラフトで指名されるまでに成長を遂げた。

幼い頃からスキーに親しみ、足腰を鍛えてきた。上田西高校入学後は、「最速１５０ｋｍ」を目標に掲げる。2年の春には大会前の「気合い」として、もともと長髪だった頭髪を丸坊主に。野球への向き合い方を見つめ直した内藤だったがチームは夏4強で敗退した。

再起をかけた秋季大会前に左膝の半月板を損傷し大会への出場を断念。内藤にとって精神的にも辛い時期となったが、仲間たちからの声援を励みに怪我を乗り越えた。

3年次には、春の大会で最速１５０ｋｍを記録し目標を達成させると、一躍プロ注目の選手になった。夏は8強で敗退し甲子園への出場は叶わず、ドラフト指名でも目標としていた支配下指名は果たせなかったが、「スタートラインに立てて嬉しい気持ちの方が大きい」と内藤。「最多奪三振のタイトルと１６０ｋｍ」を目標にまずは支配下登録を目指す戦いが始まる。（中村　七菜）

「力感なき直球」ダイヤの原石いざ、プロへ

「力感のない強い直球をキャッチボールの延長のように投げる所が内藤の魅力です」と話すのは野球部の矢澤龍一監督。しかし、「今の状態ではまだ通用しないでしょう。でも伸び代はある」と分析。育成指名に悔しさを滲ませた内藤に対して「一生懸命頑張って支配下を勝ち取ってもらいたい」と奮起を促した。

「キャッチボールを見て投球フォームや球質に惚れた」、「教えてもできないような部分が他の選手に比べて抜けていた」と話すのは捕手出身の大塚雅也野球部長。時には自ら投球を受けながら指導してきた。

内藤のスカウトを担当した原公彦総監督は「初めて見た時から体格以上のパフォーマンスを発揮していた」と振り返る。しかし、現状は矢澤監督同様「未完成」とした。

今回のドラフトは、「中学校の時に見た印象が正しいかどうかの答え合わせ」と原総監督。育成1位というプロからの解答は正答と言えるだろう。

また、プロ野球の先輩で阪神タイガース所属髙寺望夢選手は、「ドラフト指名おめでとうございます。厳しい世界ですが活躍して盛り上げられるように共に頑張りましょう。1軍で対戦できる日を楽しみにしています」と後輩のドラフト指名を喜んだ。（中村　七菜）

各方面から祝福とエール

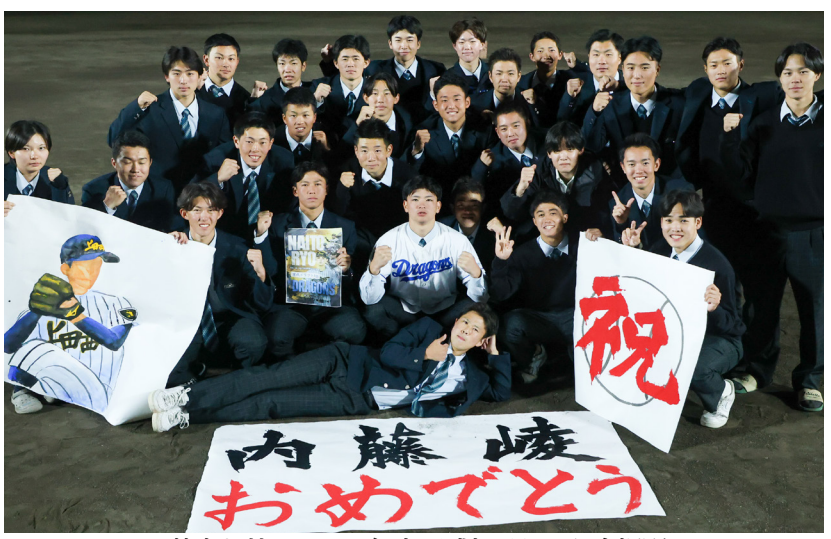
「自分ごとのように嬉しい」「ほっとした」野球部員・両親から喜びの声



育成ドラフト指名を受け、チームメイトに胴上げされる内藤



指名後の記者会見で笑顔を見せる右から矢澤監督、内藤、大塚部長



苦楽を共にした３年生野球部員らと記念撮影

野球部主将　岩田真輝人

Q　チームで一緒にプレーしてきた先輩が育成1位でドラフト指名されてどんな心境ですか？

A　凄く嬉しく思います。一緒にプレー出来て光栄でした。

Q　内藤選手はどんな存在ですか？

A　尊敬する先輩です。「自分」をしっかり持っているところがかっこいいと思います。凄く心強くて頼りになります。ベンチにいてくれるだけで安心できる存在です。

Q　内藤選手が指名された時に率直にどんな気持ちでしたか？

A　ものすごく嬉しかったです。

Q　内藤選手と一緒にプレーしてきて特に印象に残っていることはなんですか？

A　内藤さんが投げる試合では奪三振がすごく多く、流石だなと思いました。

Q　チームを代表して内藤選手に伝えたいことはありますか？

A　内藤さんと一緒にプレー出来たことを凄く誇りに思います。これからも体に気をつけて全力で頑張ってください。全力で応援します。

野球部投手　向山康介

Q　同じ投手として一緒にプレーしてきた先輩が育成1位でドラフト指名されてどんな心境ですか？

A　自分としても身近で引っ張ってくれた先輩がプロの世界に行くことはすごく誇らしいことですし、プロに入ってからも活躍してほしいと思っています。

Q　内藤選手は向山選手にとってどんな存在ですか？

A　とても信頼できる先輩だと思いますし、内藤さんのような選手が信頼される選手なんだなということを気付かせてくれた存在です。

Q　内藤選手が指名された時に率直にどんな気持ちでしたか？

A　自分ごとの様に嬉しく思いました。

Q　内藤選手と一緒にプレーしてきて、同じ投手として特に印象に残っていることはなんですか？

A　ここぞの場面で抑えられる気持ちの強さと自分自身の特徴をしっかり理解しそれをしっかり発揮できる所だと思います。

内藤聡さん、雅代さん（ご両親）

Q　今の心境は？

A　ほっとしてるというのが1番ですね。ずっと気張ってたんで。やっと1回なんか肩の荷が下りたって感じというか。ですが育成指名ということでここからがスタートなのでこれからも頑張ってほしいなと思っています。

Q　内藤選手が1番感謝を伝えたい人は両親と話してくれたことについてどう思いますか？

A　一緒に頑張ってきてくれた人や出会ってくださった皆さんに本当に感謝です。

Q　両親として、息子にこれから頑張ってほしいことはなんですか？

A　高校の時には怪我をしないことと、それで自分が今これから描いていく選手像というのをしっかりと見据えて、特に監督やコーチとコミュニケーションを取り、自分で吸収して成長していってもらえればいいかなと思います。

上田西高校ドラフト指名プレイバック

2021年巨人育成４位笹原　内藤にメッセージ

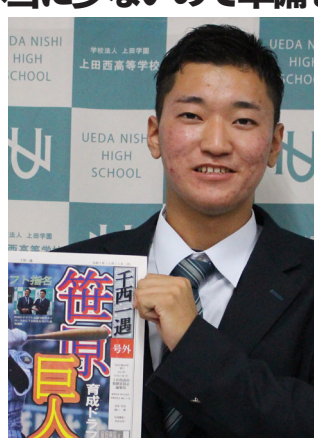
「チャンスは本当に少ないので準備を怠らないように」



両親に育成ドラフト指名の報告をする内藤



2023 オリックス１位横山 聖哉



2021 巨人育成４位笹原 操希



2020 阪神７位高寺 望夢